

◆ディスクを使用したアップデート手順について

(画面例はすべて『PCA 商魂・商管 DX システム B』を使用しています)

プログラムディスクを使用したアップデート手順についてご説明しております。
以下の操作の流れを参考に『PCA DX シリーズ』のアップデートを実行してください。
なお、アップデートを行う前に必ず[アップデート前の確認事項](#)をご確認ください。

アップデート前の確認事項

- 商魂と商管の両方をお使いの場合は、リビジョンを揃える必要があります。お手元に商魂と商管両方のプログラムをご用意し、それぞれのリビジョンを確認してください。
リビジョンは DVD の表面に [Rev.4.00] というように記載されています。
- 『PCA DX シリーズ』のネットワーク版をお使いの場合は、サーバーおよび全クライアントでのアップデートを実行する必要がありますので、クライアントユーザーへの事前告知をお願いします。
- 「オプション製品」と連動をしている場合、アップデートを実行すると、そのままご使用になれない場合がありますので、事前にサポートセンターまでご確認ください。
- 「オプション製品」「ソリューション製品」など他システムとの連動、カスタマイズ製品、汎用データをご利用の場合は、『PCA ソフト』のアップデート後、そのままご利用になれない場合があります。事前に PCA の販売パートナー、ソフトメーカー、サポートセンターのいずれかに運用の可否や操作手順についてご確認ください。
- アップデートは該当コンピュータの管理者権限 (Administrator) を持つユーザーでログオンして実行してください。

操作の流れ

1.バックアップの実行



2.『PCA DX シリーズ』アップデートの実行



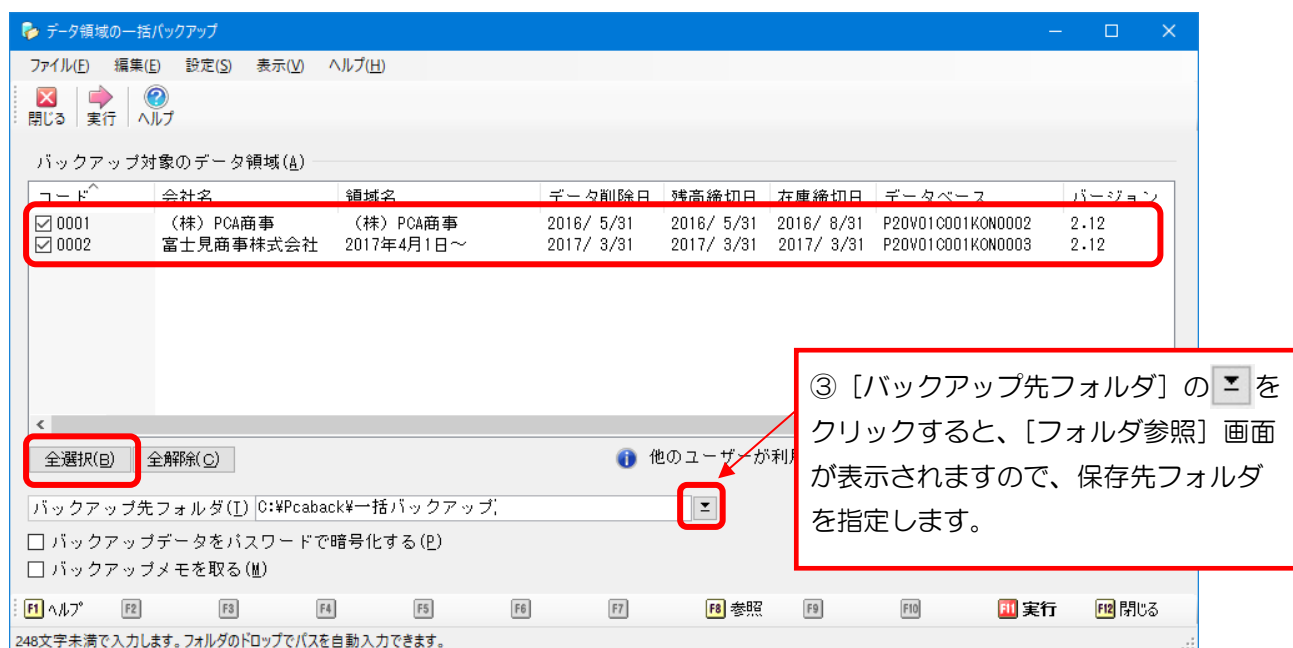
3.システム領域の更新



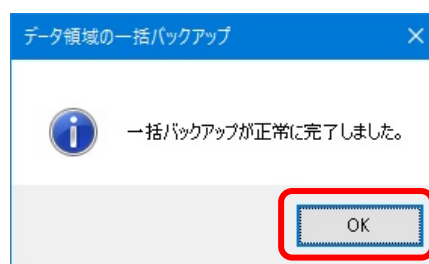
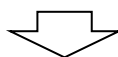
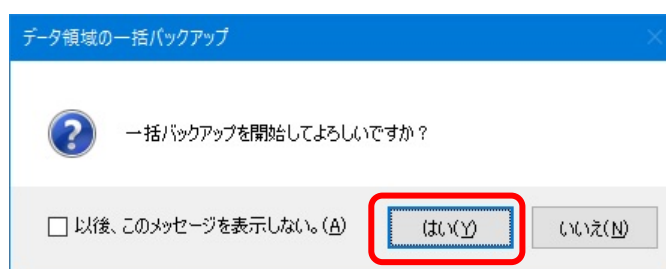
4.起動とバージョンの確認

1. バックアップの実行

- ① 「ファイル」－「データ領域の一括バックアップ」を起動します。
- ② [バックアップ対象のデータ領域] が表示されますので、[全選択] ボタンをクリックし、全ての領域にチェックを付けます。



- ④ [実行] ボタンをクリックし、以下のメッセージは [はい] で進め、完了のメッセージが表示されるまでお待ちください。



完了後、『PCA 商魂・商管 DX』を終了します。

2. 『PCA DX シリーズ』 アップデートの実行

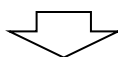
①プログラムディスクをドライブに挿入します。

ここで「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。

②以下の画面が表示されますので、[SQLServer2017 Express をインストールする] にチェックマークを付けない状態で [実行] ボタンをクリックします。

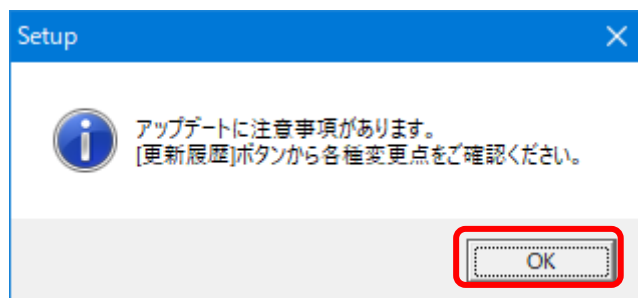
※SQL 版をご利用の場合は、[SQLServer2017 Express をインストールする] は表示されません。

また 32bit 版 OS をご利用の場合、SQLServer2014Express で表記されます。

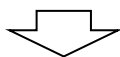
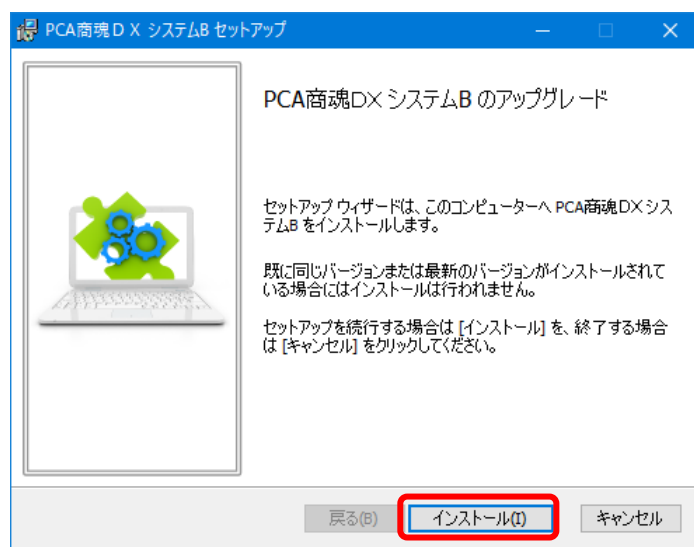


以下の画面が表示される場合は [OK] ボタンをクリックし、②の画面の [更新履歴] ボタンよりアップデートの注意事項や変更点等の詳細を必ず確認してください。

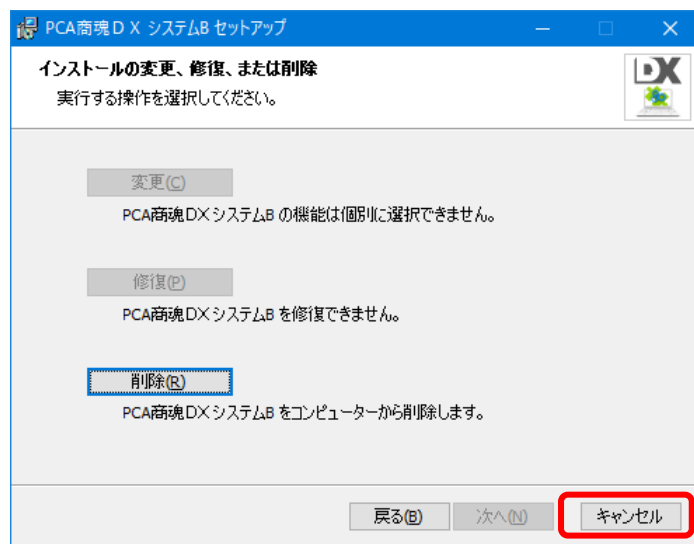
お使いのリビジョンによっては表示されない場合があります。



③以下の画面が表示されますので、[インストール] ボタンをクリックします。

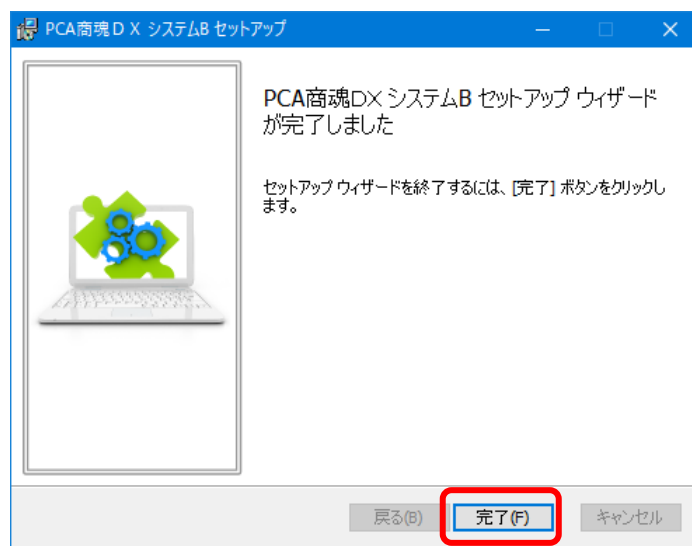


以下の画面が表示された場合は、[キャンセル] ボタンをクリックして、アップデートの作業を中止してください。この画面は、すでに同じバージョンがインストールされている場合に表示されます。[削除] ボタンはクリックしないようご注意ください。



④以下のような完了画面が表示されると、アップデートは終了です。

[完了] ボタンをクリックしてください。

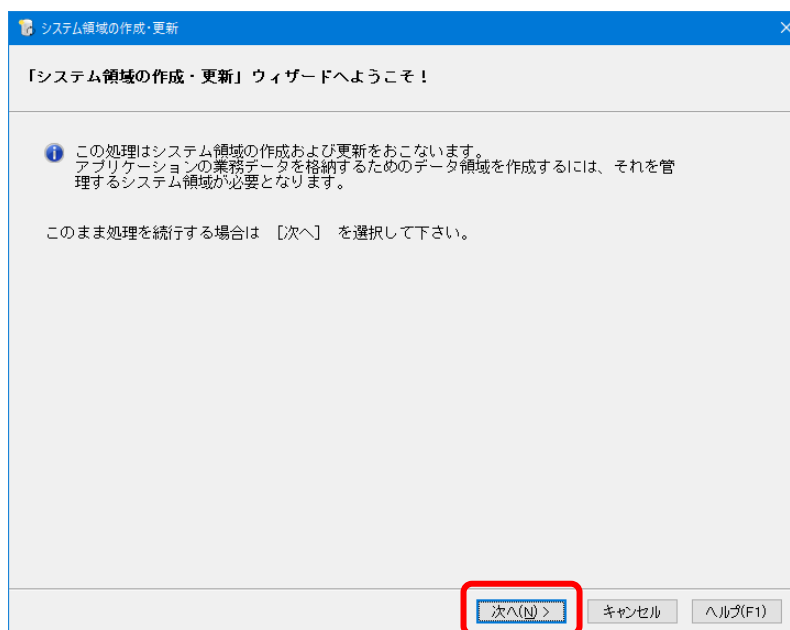


3. システム領域の更新

■「システム領域の作成・更新」画面はネットワーク版のサーバー（親機）とスタンドアロンでのみ表示されます。ネットワーク版のクライアント PC（子機）の場合は読み飛ばしてください。

■この操作は全台で『PCA ソフト』を終了している状態で行っていただく必要があります。

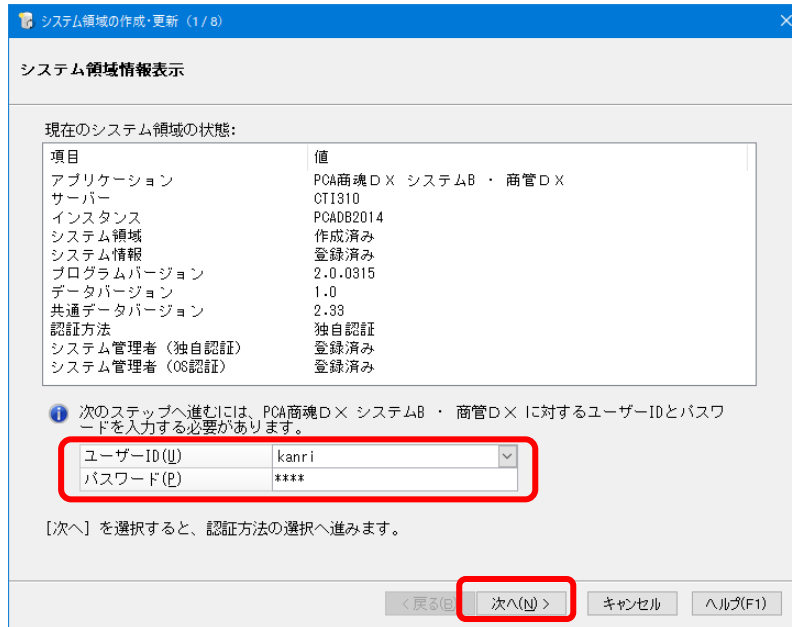
①引き続き「システム領域の作成・更新」の画面が表示されますので、[次へ] ボタンをクリックします。ネットワーク版をご利用の場合、「システム領域の作成・更新」はサーバー（親機）で行います。クライアント（子機）では表示されません。



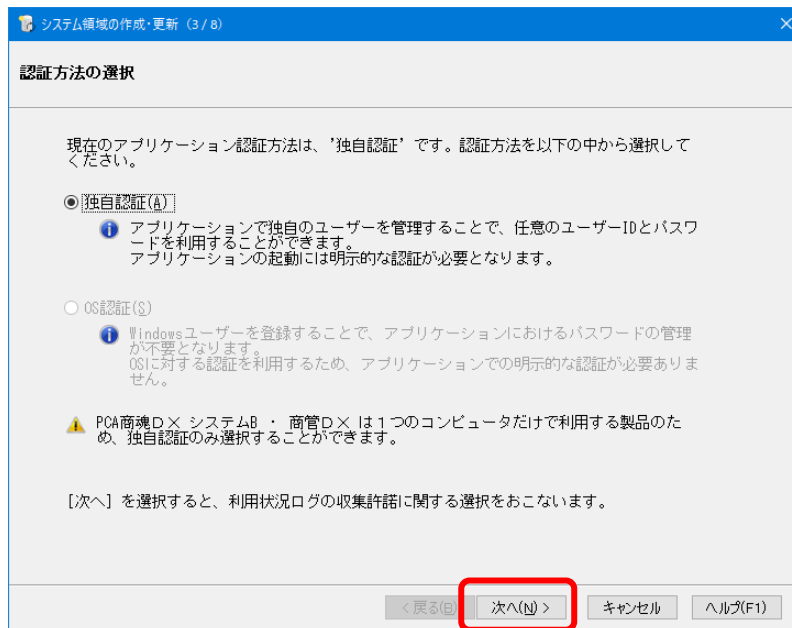
② 「システム領域情報表示」画面が表示されます。

[独自認証] の場合はシステム管理者の「ユーザーID」と「パスワード」(『PCA 商魂・商管 DX』にログインする時に入力しているパスワード)を入力して、「次へ」ボタンをクリックします。

[OS 認証] の場合、パスワード入力欄は表示されませんので、そのまま「次へ」ボタンをクリックしてください。



③ 「認証方法の選択」画面が表示されますので、そのまま [次へ] ボタンをクリックします。アップデートの場合は、現在設定されている認証方法が初期値として表示されます。



- ④ 「利用状況ログの収集許諾」画面が表示されますので、選択し、[次へ] をクリックします。
この許諾設定は、システムツールからいつでも変更可能です。

システム領域の作成・更新

利用状況ログの収集許諾

お客様へ「利用状況ログの収集」に関するご協力をお願い

より多くのお客様に対してPCA製品の利用価値を高めることを目的として、お客様の利用状況ログを活用します。「許可する」を選択すると、お客様が利用した処理や機能、意図せず発生したエラーに関するログデータが自動的に収集されます。

利用状況ログの収集にご協力頂けなくてもPCA製品はご利用可能です。
また、この許諾設定はシステムツールからいつでも変更可能です。

詳しくは、PCA のウェブサイトの「利用状況ログの収集ポリシー」をご確認ください（青字クリックで開きます）。

利用状況ログの収集

許可する(A) 拒否する(D)

[次へ] を選択すると、システム情報の入力内容を確認してから登録をおこないます。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ(F1)

- ⑤ 入力内容を確認し、[次へ] ボタンをクリックします。

システム領域の作成・更新 (6 / 8)

入力内容の確認

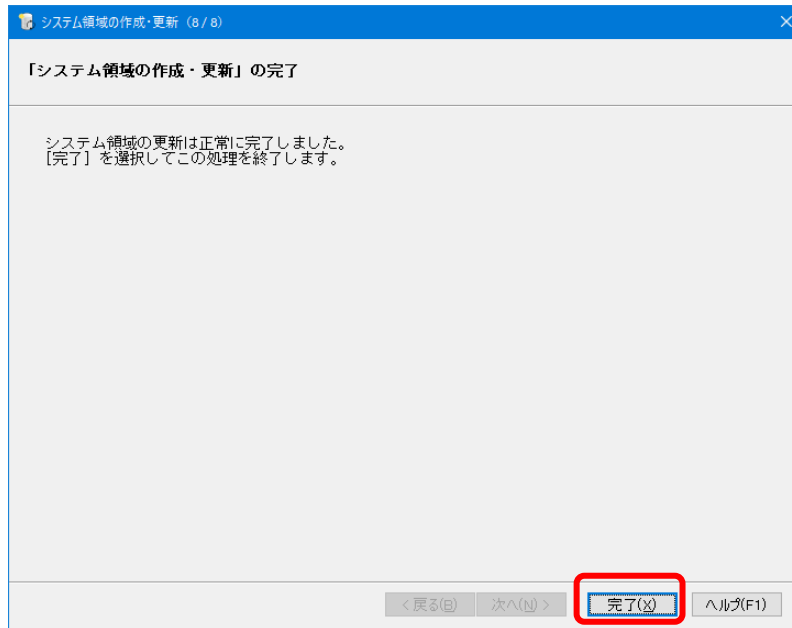
システム情報の入力内容:

| 項目 | 値 |
|--------------|----------------------|
| プログラムバージョン | 2.0.0315 -> 2.0.0334 |
| システムデータバージョン | 1.0 |
| 共通データバージョン | 2.33 |
| 認証方法 | 独自認証 |
| ライセンス (商管) | 1 クライアントライセンス |
| ライセンス (商魂) | 1 クライアントライセンス |
| 利用状況ログの収集 | 許可する |

[次へ] を選択すると、現在の入力内容に従ってシステム情報を登録します。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ(F1)

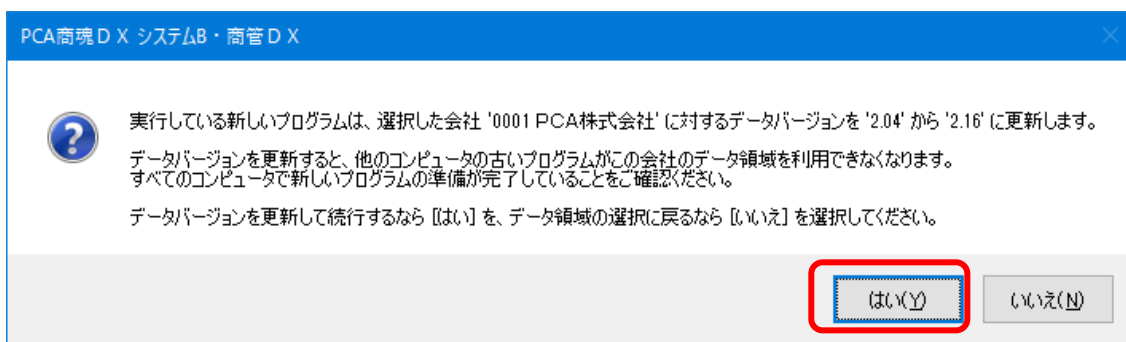
⑥以下の画面が表示されると、[システム領域の作成・更新] は終了です。[完了] ボタンをクリックしてください。




商魂と商管の両方をお使いの場合は、リビジョンを揃える必要があります。
もう一方のプログラムでも P.3~P.7 をご覧になり、セットアップ→システム領域の作成・更新
まで行ってください。

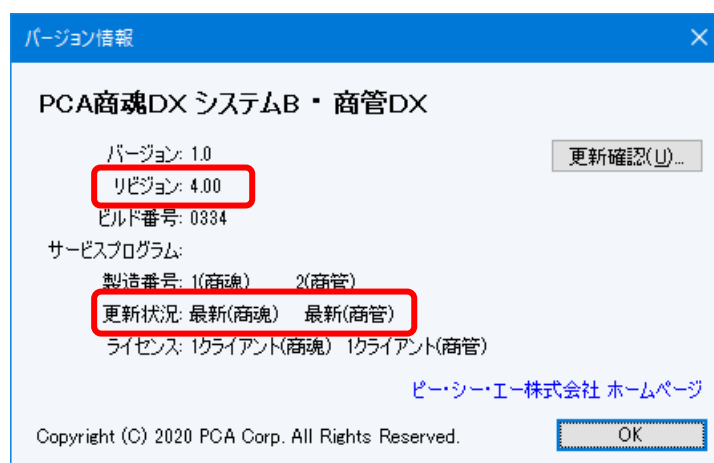
4. 起動とバージョンの確認

- ①『PCA 商魂・商管 DX』を起動すると、アップデート前のプログラムバージョン（データバージョン）により、データバージョンの更新画面が表示されることがあります。
- 以下のメッセージが表示された場合は、[はい] ボタンをクリックし、データバージョンの更新を行ってください。
- ※すべての会社（領域）でデータバージョンの更新を行います。



- ②メニュー画面の  ボタンでリビジョンを確認することができます。

ネットワーク版の場合はサーバー（親機）と全クライアント PC が同じリビジョンになっていることを確認してください。



以上でアップデートの操作は終了です。

なお、『PCA ソフト』間の連動機能や他の一部アプリケーションとの連動機能をご利用で「PCA 連携プログラム」をセットアップされている場合は、「PCA 連携プログラム」もアップデートしてください。プログラムディスクの「連携プログラム」フォルダからアップデートすることができます。